

## 会議の概要

### 令和２年度 第４回

## おおたま学園コミュニティ・スクール委員会

- 兼
- 大山幼稚園学校運営協議会
  - 玉井幼稚園学校運営協議会
  - 大山小学校学校運営協議会
  - 玉井小学校学校運営協議会
  - 大玉中学校学校運営協議会

日 時：令和２年１０月６日（火）１８：３０～２０：１５

場 所：改善センター 全体会：多目的ホール（１階）

分科会：幼稚園…多目的ホール、大玉中…健康相談室（１階）

玉井小…農事研修室、大山小…農事相談室（２階）

（進行 指導主事 斎藤一範）

#### １ 開会のことば （おおたま学園コミュニティ・スクール委員会副会長 吉田 都）

みなさん、こんばんは。これより令和２年度第４回おおたま学園コミュニティ・スクール委員会（以下ＣＳ委員会と略記）を行います。よろしくお願いします。

#### ２ 教育長あいさつ （大玉村教育委員会教育長 佐藤 吉郎）

- 改めまして、こんばんは。日も短くなってきた今日この頃ですが、お忙しい中おいでいただきありがとうございます。
- ９月４日の大玉中学校オープンスクールと併せて行われたＣＳ委員会では活発な協議をいただき、感謝申し上げます。その内容については、今日配付された第３回ＣＳ委員会会議の概要に記されている。確認したいことは、６ページにあるＣＳ副会長さんの講評と大玉中の校長先生の御礼の言葉の内容である。
- 令和２年３月にまとめられた「大玉村むらづくりアンケート集計結果報告書」についてであるが、１ページに書かれているように、何のために実施したかという、次のような理由からである。  
それは、本年度、大玉村では、これから１０年間の「第２次総合振興計画」「第２期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を、教育委員会では来年度から実施予定の長期計画「教育ビジョン」を創るための基礎資料とするためである。  
教育ビジョンを創るにあたって、専門家が調査項目を設定してアンケートを実施した。その中に、教育に関するものがあつたのでご覧いただきたい。住民の方々の意識ということで捉えていただければよいし、この後の話し合いの際の参考になればよいと思っている。
- 調査項目は全部で３０項目ある。表をご覧いただきたい。評価については「①満足」「②やや満足」「③どちらともいえない」「④やや不満」「⑤不満」の５段階で示されている。
  - ・ 幼稚園教育について 「①２４％」「②３１％」「③３７％」「④３％」「⑤１％」、
  - ・ 小中学校の教育について 「①２１％」「②３０％」「③３９％」「④４％」「⑤２％」、
  - ・ 生涯学習環境について 「①１６％」「②２８％」「③４７％」「④４％」「⑤１％」、
  - ・ スポーツ振興について 「①１５％」「②２８％」「③４５％」「④５％」「⑤２％」、
  - ・ 歴史・文化の保全・活用について 「①１３％」「②２８％」「③４９％」「④５％」「⑤２％」というような数値になっている。細かな中身については、『第６章 教育について』をご覧いただきたい。問１８「あなたは、村の小中学校の教育活動について、どう感じていますか。」について「そう思う」「どちらでもない」「そうは思わない」の３段階で回答していただいた。

① 「基礎学力を定着する教育ができています」について

小中学校の教育について、3段階の尺度で尋ねたところ、「基礎学力を着実に養う教育」は、「わからない」や無回答も多いものの、「そう思う」が「そうは思わない」を大幅に上回っており、住民は、この項目について、おおむねよい評価をしていると言える。また、問6で「中学生以下の子どもがいる」と回答した方のみの回答では、「そう思う」の割合が高くなっている。

② 「個性を尊重する教育を行っている」について

「個性を尊重する教育を行っている」については、回答者全体では「そう思う」と「そうは思わない」が拮抗している。「中学生以下の子どもがいる」と回答した方では「そう思う」も「そうは思わない」も回答者全体より割合が高くなっている。

③ 「受験に対応した教育ができています」について

「受験に対応した教育ができています」は、回答者全体では、「そうは思わない」が「そう思う」を上回っている。「中学生以下の子どもがいる」と回答した方では「そう思う」も「そうは思わない」も回答者全体より割合が高くなっている。

④ 「子どもたちが先生を尊敬している」について

「子どもたちが先生を尊敬している」は、回答者全体では、「そう思う」が「そうは思わない」をやや上回っている。10～30歳代、「中学生以下の子どもがいる方」では「そう思う」が「そうは思わない」を大幅に上回っている。

⑤ 「安全管理が行き届いている」について

「安全管理が行き届いている」は、「そう思う」が「そうは思わない」を大幅に上回っている。また、「中学生以下の子どもがいる方」の回答も、「そう思う」が「そうは思わない」を大きく上回っている。

⑥ 「いじめや荒れが少ない」について

「いじめや荒れが少ない」についても、「そう思う」が「そうは思わない」を大幅に上回っている。「中学生以下の子どもがいる方」の回答も「そう思う」の割合が高くなっている。

6項目については、以上のような調査結果が出ている。今日は、この後の話し合いをする際に、頭の片隅に入れていただき、熱心な討議をいただければ幸いです。よろしくお願いします。

3 おおたま学園CS委員会会長あいさつ (おおたま学園CS委員会会長 伊藤 和弥)

みなさん、お晩でございます。本日は、お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。また、9月4日の大玉中学校オープンスクール及びCS委員会に、体調不良のため出席できず申し訳ありませんでした。前回の会議記録を見ると、中学校の先生方が、いろいろ工夫しながら一生懸命に頑張っているのが分かり、とても嬉しく思っている。

また、1学期中、学校行事ができなくて心配していたが、2学期になって、各校・園で工夫しながら、運動会を始めいろいろな行事に取り組んでいる様子を見て、少しずつだが日常を取り戻しつつあるんだなということを実感している。

今日は、今後のCSの活動について、できないこともあるかもしれないが、ぜひできることをたくさん探して、活発に議論いただければと思う。短時間ではあるが、みなさんにご協力いただきながら進めていきたいと思うのでよろしくお願いします。

4 諸連絡 本日の日程・内容について (指導主事 斎藤 一範)

本日は大きく分けて以下の2点について協議を進める。

○ 第2回コミュニティ広場について

- ・ 事務局案の説明後、小グループで内容、実施形態等についてご意見をいただく。

○ 各園・各校ごとの意見交流(各校の現状等)

- ・ 学校の課題、困りごと
- ・ 今後のCS委員会について

学校に特化したもの以外については、熟議ができるものは2回（12月と1月）になるが、その内容をどうするかについてもふれていただきたい。特に、過去2年間は、12月には福島学院大学教授の渡辺博志先生をお招きして、学校評価についてご講演いただいた。その内容をどうするかについても話し合っていたいただきたい。その後、休憩を挟み全体協議という形で進めていきたいと思います。

グループ編成については、要項に示したとおり、通常(学校関係者評価)とメンバーを入れ替えている。様々な視点からご意見をいただきたい。

## 5 協議

(座長 おおたま学園CS委員会副会長 矢吹吉信)

(1) 第2回おおたまコミュニティ広場(第11回教育フォーラム)について

### ① 事務局より説明

(座長) それでは、第2回コミュニティ広場について事務局より説明願います。

(斎藤指導主事)

- 本年度も開催する方向で考えている。
- 平成21年度から講演、パネルディスカッション等様々な形態で実施してきており、昨年度から名称を「コミュニティ広場」と変更し、より身近で充実した内容になってきている。
- 各学校の総合的な学習の時間で“ふるさと大玉村”について学ぶ時間を設けているので、それを発表する機会をつくる。併せて、このコミュニティ広場を村の関係者が集う機会としても位置付ける。
- 実施日時 → 2月13日(土)、14日(日)、20日(土)、21日(日)のいずれかで、午前中(9時～11時30分)に行いたい。各部会でご協議いただきたい。
- 参加者は、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止という観点から、最大でも120名とし、広く村民から参加を呼びかけるのではなく、参加者を限定し、こちらから依頼するという形で進めてはどうかと考えている。
- 内容について
  - ・ 第1部「ふるさと大玉村への思いを伝えよう」…子どもたちが自分たちの学びを通した思いを発信する。(各校の発表は移動を含めて15分程度)
  - ・ 第2部「ふるさと大玉村への私たちの思いを語り合おう」…昨年度は村のいい所とか魅力、課題等を挙げてもらった。今年度は一歩進んで、“強みを生かし、弱みを克服するために、何かできることはないか”という形で進めたい。併せて、地域とつながりのある活動の充実に向けて、地域や企業、保護者が子どもや学校とやってみたいことや、子どもたちや学校が地域や企業、保護者と一緒にやってみたいこと等について意見交流を図る機会を設けるようにする。→フREETークを60分確保
  - ・ グループ編成…意見を深めるため、昨年度より少ない人数(6～8名)で16グループ程度編成する。子どもたちも各グループに数名参加してもらうようにする。
  - ・ 最後に、グループで話し合った内容を発表してもらい共有する。
- 今後について
  - 今日の意見を計画に反映させ、12月9日(水)の第7回CS委員会の折に再度提案する。
  - 1月14日(木)の第8回CS委員会で最終確認をする。
- グループ協議について

本日の参加者数の関係により、幼稚園は2園合同で、大玉中から玉井小に1名移動していた



だいて行う。

② 小グループによる熟議（各園・各校ごと）

ア コミュニティ広場について

- ・ 実施方法（人数の限定等）について
- ・ 第1部の内容について
- ・ 第2部の内容について

イ 学校の課題、困りごと等

ウ 今後のCS委員会で熟議したいこと



（2）全体での共有

① 大山小学校

（大山小学校長 舘脇 一弘）

ア コミュニティ広場について

- ・ おおむね案通りでよいが、その他にぜひ前年度の振り返りの場がほしい。去年の子ども アイディアがどのように取り組まれて、その結果どうなっているのかを確認する場があるとよい。
- ・ テーマがとてもいいと思う。「アットホームおおたま」や「たまちゃん食堂」のメニューを子どもたちが考えて、そこに「大玉村の子どもたちが考えた〇〇」等があるとよい。家でメニューを考えることをきっかけに、大玉村の特産を知ったり、家族のコミュニケーションを図る機会になったりするといいい。

ウ 今後のCS委員会で熟議したいこと

- ・ 熟議については明確なものはまとまらなかったが、改めてCSとか地域学校協働活動についての理解を深められるような熟議ができるとよい。

② 玉井小学校

（CS副会長 矢吹 吉信）

ア コミュニティ広場について

- ・ 前回のコミュニティ広場は大成功に終わった。第1部、第2部のつながりがはっきりしており、熟議も盛り上がり、CS委員も司会者としてうまくまとめることができるのでよいと思う。（以前は、グループ協議で盛り上がり、進め方が難しかった。）児童・生徒が入ると、雰囲気は良くなり盛り上がるので、ぜひこの流れで計画したい。
- ・ 今回は、地域・企業とのつながりが案の中に入っていた。2月までにはぜひ実施したいことは、企業（村づくり株式会社）との連携によるメニューづくり等である。  
→ 村づくり株式会社が、“マイおにぎりデー”や“大玉のお気に入りの一枚の写真”等のコンクールを計画し実施する。児童・生徒に募集をし、写真（マイおにぎりはレシピと共に）等の作品を提出してもらう（コミュニティ広場の会場に掲示。審査会の実施）。最優秀のマイおにぎりは商品化し、村内の各施設（ex.たまちゃん食堂、アットホーム等）で販売する等。

イ 学校の課題、困りごと等

- ・ 運動会を10月17日（土）に行う。コロナ対策で制限がある中ではあるが、6年生にとってよい思い出になるよう準備と練習を頑張っている。今後もCSで協力していきたい。

ウ 今後のCS委員会で熟議したいこと

- ・ 新らしいCS委員もあり、学校評価はどういうものか捉えにくいので、12月には学校評価のお話をいただくのが一番よい。
- ・ 1月は、コミュニティ広場の段取りと、2月に承認しなくてはならない学校経営ビジョン

等についてCSのメンバーで意見交換をする。

### ③ 大玉中学校

(CS委員 佐藤 拓未)

#### ア コミュニティ広場について

- ・ 中学1年は村の農業関係の学習を実施しており、それについては第1部の内容にふさわしく効果的な内容になるのでよい。
- ・ 中学2年は、コロナの影響で職場体験が実施できず、内容を変更して面接体験を行った。昨年度の発表は、とても講評で良かったが、今回の発表は難しい。
- ・ 校長先生から役割分担してはどうかという意見があった。
  - 1年生は総合の学習の時間で学んだことを生かして発表をする。
  - 2年生は、日頃学んでいることを生かして、第2部のフリースークに加わり熟議を体験する。
- ・ これらの活動を学校のカリキュラムと連携させながら実施できるといいと考える。

#### イ 学校の課題、困りごと等<コロナ禍で、実際学校では…>

- ・ カリキュラムの遅れを取り戻し、予定通り冬休みがとれそうである。
- ・ 修学旅行を10月中に2泊3日で実施する。
- ・ これまで、先生方及び生徒、保護者の皆さんが力を合わせて、遅れを取り戻すために努力してきた。今後もコロナ対策を図りながら、学校経営に取り組んでいただきたい。



### ④ 幼稚園

(大山幼稚園副園長 後藤 弥和子)

#### <全 体>

#### ア コミュニティ広場について

- ・ 去年の内容がとてもよかったという意見が多かった。今年も引き続きとしたいところだが、「このコロナ禍の状況の中で、同じような形で行うのはどうなんだろうか。」という疑問が出された。
- ・ 地域の方々が集まり、そして話し合いをするということ自体は、CSがこれまでとても大事にしてきたことである。ただ、地域の方々、各種団体の方々の中には高齢者もあり、参加者の方も不安をもつのではないかな。
- ・ 小・中学生も参加するようになっているが、もし無症状の感染者がいた場合には感染するリスクもあるし、その後学校で拡がる危険性もある。(しかも中学3年生は受験を控えた時期である。)
- ・ 感染対策をどのようにするのか。参加人数を最大120名程度に抑えるということであるが、120名もの人が集まって大丈夫なのか心配である。グループ協議は分散して分科会として行うようになると思うが、共有する際に全員集まるのは不安である。
- ・ もし行うのであれば、新しい形での実施を考える必要がある。
  - 今回は講演会という形にして、みんな同じ方向を向いてお話を聴くという方が感染のリスクは低い。
  - 各分科会会場をリモートでつないで行う方法をとる。
  - フリースーク(6～8人)の際、感染を防ぐために、参加者の間隔を確保してパーテーションを設置する。
  - どのような人たちに参加を依頼するするのかも検討する必要がある。



### 〈大山幼〉

#### イ 学校の課題、困りごと等

- ・ 大山幼稚園、玉井幼稚園共に言えることだが、トイレ清掃が入ったことで教職員の負担がかなり減った。3月までやっていただけのことなので、とてもありがたい。
- ・ 運動会について  
運動会は、天候も何とか回復して最後までできて大変よかった。
- ・ もちつき会について  
もちつき会をどのような形で行うといいのか。子どもたちの楽しみであり、伝統のものを実施したいと思うのだが、外でやればいいのか、また、どういうふうにすればいいのか考えているところである。
- ・ 発表会もこれからあるので、十分に検討していかなければならないと思っている。

### 〈玉井幼〉

(玉井幼稚園副園長 佐藤 文江)

#### イ 学校の課題、困りごと等

- ・ 運動会は、密を避けるために学年で入れ替え制で行った。保護者をどうするかについても考えたが、運動会で人数制限しては、せっかく見に来ていただいた方々に申し訳ないと考え、学年で分けて実施した。それに関しては密を防ぐことができて良かった。駐車場を割り当て制にして、学校支援ボランティアの方にも協力いただいて何とか無事に終えることができた。
- ・ 発表会について  
例年改善センターを使用させてもらっている。毎年密になる状況であるので、どういう形でやっていくのかについては、今後検討していかなくてならない。  
学年入れ替え制にするのであれば、改善センターを使わせていただくようになるのかなどと思っている。(小学校の体育館は1週間前に学習発表会があるので練習できない。幼稚園の遊戯室も密になってしまう。)
- ・ もちつき会について  
せっかくの年中行事であるので、子どもたちに体験させたいという思いはある。どのような形で実施できるのかについて今後検討していく。

(座 長) ありがとうございます。最後に、2月にコミュニティ広場を開催するというになっているが、コロナの関係で後藤副園長先生からあったように、いろんな方法があるのではないかというお話があった。なかなか難しい問題ではあるが、もしご意見があればお願いしたい。

(委 員)                   － 特にない様子 －

(座 長) 1回目のコミュニティ広場が大変好評であったので、同じような流れでできればいいのだが、いろんなリスクがあるので、その辺についてもこれから時間をかけて一番いい方法で開催できればといい考える。

2月13日(土)、14日(日)、20日(土)、21日(日)の中で一つ案を選んでいきたい。学校やスポ少の関係は？

(佐藤拓CS委員) 大玉中学校は、2月10日～15日が入試関係の願書提出期間、16日～17日が調整期間ということである。受験関係の事務等が続いているという話があった。校長会でそのへんを調整するということだったようだが…。



(斎藤指導主事) 決定ではなくて、皆様方の都合のいい日がどのあたりかということをご意見いただき、最終的に調整したいと考えている。4日間の中で、CS委員の皆様が都合のいい日を知りたいということである。

(座 長) 実施日については、学校の予定が大事であるので、校長会で選んでもらってよい。

12月と1月の熟議について各校からお話があったが、例年通りの内容でいかがだろうか。

12月は渡辺先生の講演(学校評価)、1月はコミュニティ広場の段取りと経営ビジョンについての打合せを行い、2月の承認の前に1回学校からの説明を受けるという内容ではいかがだろうか。

(CS委員)           － 同 意 －

## 6 その他

(指導主事 斎藤 一範)

### ○ 次回の予定

10月29日(木)開催の大山幼・小オープンスクールについて本日案内を配付したので、確認と出欠報告をお願いしたい。

## 7 閉会のことば

(おおたま学園CS委員会副会長 大山 明美)

みなさまお疲れさまでした。以上をもちまして第4回おおたま学園CS委員会を終了します。お疲れ様でした。